

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

(別添様式2)

公表日：令和 6 年 2 月 1 日

事業所名：有限会社ポラリス翔

サービス種類：(放課後等デイサービス)

区分	チェック項目	現状評価 (実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
環境・体制整備	1	利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	指定基準に基づきサービス提供をおこなっています。	『はい』が94%、『わからない』が6%	施設基準を満たしているが利用者に応じて活動内容を工夫し確保していきたい。
	2	職員の適切な配置	指定基準に基づきサービス提供をおこなっています。	『はい』が100%	配置基準を満たしています。
	3	本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	室内に入るためのスロープ・トイレの手摺等を設置しています。	『はい』が76%、『どちらともいえない』が12%、『わからない』が12%	使用者の状態や状況に応じて適切に設備できるように工夫していきます。
	4	清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	毎日滅菌消毒・掃除をおこなっています。感染症を防ぐために消毒・換気にも注意しています。	『はい』が94%、『わからない』が6%	現状維持に努めるとともに感染対策にも注意しながら行っています。
業務改善	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	定期的にはスタッフ全員で会議を行っています。		
	2	第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	現在行っていません。		
	3	職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	事業所内での研修を行っています。リモートでの研修参加も行っていきます。		
適切な支援の提供	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	契約時に聞き取り、サービス等利用計画や相談支援事業所や他機関と連携しながら計画を作成しています。		日々の支援に基づき適切に分析し支援につなげていきます。
	2	子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	モニタリング・会議を行い職員間で情報を共有し、作成しています。	『はい』が100%	児童支援利用計画に基づき各機関とも連絡を取り合いながら利用者の状況に合わせて作成していきます。
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	定期的に会議を行い、職員間で情報を共有しわかりやすい言葉で記載しています。		適切な項目を設定し、わかりやすい言葉で具体的に記載していきます。

区分	チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供（続き）	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	個別支援計画に基づいて支援を行っています。	『はい』が100%	計画に沿って各子どもに合った適切な支援に努めていきます。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	会議で職員と話し合いながら季節にあったプログラムを立案し取り入れています。利用者や職員もワクワクするようなプログラムを考えています。	『はい』が100%	利用者や職員もワクワクするようなプログラムを考え取り入れています。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	固定化しない様にスタッフ間で話し合い立案しています。ニーズに合わせて利用者に聞き取りをしながら外出場所も決めています。		現状維持に努めていきます。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	毎年利用者や職員が楽しむことができる活動を増やしています。		個別支援計画に基づいて実施したいと考えています。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	日々業務にあたる前に対応について確認を行っています。		
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	報告・連絡を密に行い情報の共有を行っています。定期的に会議を行い情報の共有をしています。		
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	業務日誌・個人記録へ記録を行っています。問題があれば検討し改善しています。		
11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	定期的にモニタリングを行い、学校や相談支援事業所などに連絡を取りながら計画の見直しを行っています。			

区分	チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	管理者が参加しています。		
	2	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施			
	3	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備			
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校（小学部）等との間での支援内容等の十分な情報共有	相談支援事業所の情報提供のみです。		
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	生活介護の運営も行っているので情報提供しています。他の事業所より要請があれば提供しています。		
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進			
	7	児童等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	公園などで一緒に過ごしたり地域行事等の参加にとどまっている。	『はい』が29%、『どちらともいえない』が6%、『いいえ』が6%、『わからない』が29%	今後、必要に応じて活動していきたい。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	事業所としての参加はできていません。		

区分	チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明責任・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時に契約書・重要事項説明書・運営規程に沿って説明しています。	『はい』が88%、『どちらともいえない』が12%	分かりやすく丁寧に説明していくように努めていきます。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	計画書を見ながら説明を行い同意を頂いています。お控えをお渡ししているのでわからないことがあれば連絡を頂いています。	『はい』が76%、『どちらともいえない』が24%	分かりやすく丁寧に説明していくように努めていきます。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	家族からの相談や悩み事があれば個々にアドバイス等を行っています。ですが専門的には行っていません。	『はい』が35%、『どちらともいえない』が12%、『いいえ』が18%、『わからない』が35%	必要に応じて適切に行えるように、職員の資質向上に努めたい。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	連絡帳や送迎時などに家族からの情報提供を参考にしています。	『はい』が100%	今後も共通理解できるように日々の連絡を丁寧に行い、信頼関係を築いていきたいと思えます。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	送迎時や電話での対応でアドバイスをしています。	『はい』が53%、『どちらともいえない』が12%、『いいえ』が6%、『わからない』が29%	適切に対応・助言できるように、研修や職員のスキルアップを図っていきたく思っています。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	現在行っていません。	『はい』が18%、『いいえ』が59%、『わからない』が23%	必要に応じて検討していきたい。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	管理者が迅速に対応しています。	『はい』が70%、『わからない』が30%	迅速に適切な対応ができるように努めていきます。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	細心の配慮を行っています。	『はい』が100%	それぞれの特性を考慮しながら伝わりやすいように工夫を重ねていきたいと思えます。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	こぐま通信（広報）に掲載、連絡帳やプリントの配布でお知らせをしています。	『はい』が88%、『わからない』が12%	施設通信やHPなどで分かりやすく情報発信をしていきたいと思えます。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	十分に注意をしています。	『はい』が100%	今後も十分に注意していきたい。

区分	チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各マニュアルを策定し、職員間で共有しています。	『はい』が53%、『どちらともいえない』が6%、『わからない』が41%	保護者への周知ができていないので、周知できるように考えていきます。定期的に職員間でも確認していきます。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	定期的におこなっています。防災センターへ行き消火訓練などを行っています。	『はい』が47%、『どちらともいえない』が6%、『わからない』が47%	保護者への周知ができていないのでこぐま通信や日誌を通じてお知らせできるようにしていきたい。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	委員会を設置して検討し、各事業所でそれをもとに研修を行い職員間で共通認識を図っています。		定期的に研修を行い職員の意識向上に努めていきたいと思います。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	職員間で共有しながら、必要な時は保護者に説明をし同意を得て記載しています。緊急に対処を行った時は、送迎時に丁寧に状況説明を保護者に行い理解を得ています。		委員会で事例などを検討していきながらよりよい支援方法を考え取り組んでいきます。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	家族からの聞き取りのみとなっています。		聞き取りをもとに注意しながら対応していきます。
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	事例があった時は、作成し職員間で共有しています。		